

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度 を測る指標	現状の 数	単 位	目標 数値	本 年度 の 実績 数値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
芸西村	学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	平成27年度に人材バンクを立上げ、地域や学校協働活動における人材確保に努めてきたが、既存登録者が高齢化し人員の確保・活動が困難な状況になってきた。若年層は働き盛りの年代であり、学校活動への参加が難しいことから登録者が伸び悩んでいることが課題となっている。	総合的な学習をはじめとする教育課程において、若年層が参加できる項目があることを情報発信するため、公式LINEを活用する。日常的に活用しているスマホアプリで学校補助の計画を発信することで、地域のゲストティーチャーや軽微な補助活動の参加機会を促し、人材登録への相乗効果を図る。	登下校の引率など高齢者でも参加できる学校補助に積極的に参加を促し、地域貢献の活動の場を増やし継続登録者を持続する。若年層については、学校補助へのイメージのハードルを下げるため、活動報告などを発信し協働活動への意識を増進させる。協働活動への参加者が増えることにより、人材の選考や依頼が多様になり教職員の業務負担が軽減される。	支援件数	4	件	6	6	学校教職員に地域人材バンク登録者を周知・認識してもらうため人材カタログの作成を実施。コーディネーターから人材バンク登録者へ案内をする際には、人材バンク公式LINEを活用することによって、登録者全員への一斉案内が可能となり、幅広い年齢層への周知ができるようになった。以上のことにより、教職員からの依頼に対応できる人材の幅が広がり、地域人材支援件数が目標の6件に到達することができた。